

# 黄泉の国との契約書 —東アジアの買地券—

## 王海燕

東京大学史料編纂所 外国人研究員  
浙江大学歴史学院 教授

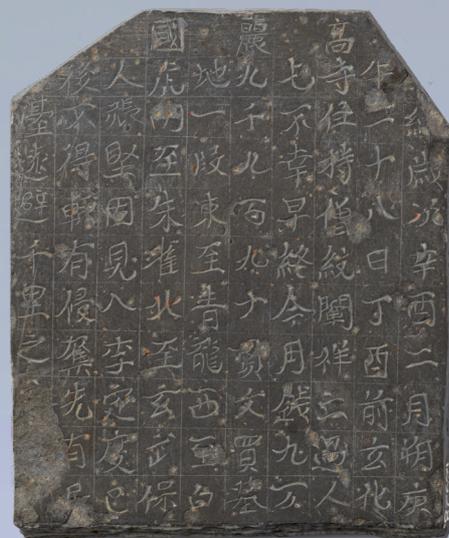
### 中国の買地券

—吳越地域の事例を中心に—

## 稲田奈津子

東京大学史料編纂所 准教授

### 朝鮮と日本の買地券



画像②



画像①

事前登録用QR



オンライン開催

2022/6/3(金) 17:30 - 19:30

買地券とは、文字どおり、土地の売買契約書を記した金石文資料のことです。ただし、売買されるのは墓をつくるための土地であり、多くの場合、売主は冥界の神々、買主は死者やその身内で、遺体とともに墓中に埋納される、といった点が特徴になります。古代中国に源を発し、中国では近代にいたるまで長期にわたって作成され、現在も数多くの遺物が知られています。朝鮮半島や日本でも、わずかながら事例が確認されており、中国墓葬文化の広がりを見とることができます。本セミナーでは、最新の調査成果をふまえつつ、中国・朝鮮・日本の買地券の事例について紹介していきます。